

# もう一度、鹿児島からなでしこリーグ参入を！ ジュブリーレ鹿児島の選手サポート体制 ～セカンドキャリアと地域コミュニティの重要性について～

東日本大震災で大きな被害を受けた日本を、女子ワールドカップで優勝した日本女子代表が、被災地の人々を勇気づけ、その後なでしこブームと言われ、日本に女子サッカーという疾風が吹いた。女子サッカー選手が様々なジャンルのテレビ番組やCM等に出演し、メディアへの露出が多く見られた。サッカー界だけでなくファッション界やその他様々な分野で活躍を見せ、その追い風が、首都圏の高校大学の女子サッカー部創立にも繋がった。しかし、現在その疾風も止まり、女子サッカー競技でプロとして生活を樹立することは困難で、就業においてもサッカー競技を続けながらの女性の働く現場は限られている背景は過酷であることを、我々は再認識しなければならない。そして、それでも夢を追い続けるサッカーウーマンを球団は応援し、サポートすることを使命としなければならない。

▶ [NPO法人アサヒナの地域コミュニティ活動](#)

## 目的

最大の目的は、勝負に勝つチームを作ること。チャレンジリーグに昇格すること。そして球団がスポーツを通して、女子サッカー選手のセカンドキャリアに対する意識向上と専門知識資格取得をサポートし、ワーク（収入ある仕事人生）とライフワーク（収入なしの仕事）を同一化させ、地域コミュニティの発展と女子サッカーの普及やジュニアサッカーアスリートの育成に繋げて行く。またその成長を競技選手として、技術戦術・選手、チーム強化に繋げていくことを目的とする。

## 方法

鹿児島県管轄、認定校NPO法人アサヒナにて7月下旬から翌年1月下旬までの6ヶ月を「職業訓練スポーツビジネス科」にて専門知識と資格を習得。勿論試験合格にはなるが、支援企業でセカンドキャリアを兼ねた就業（収入ある仕事人生）をスタートさせ、サッカープレイヤーとしては当然活躍してもらい、同時にサッカー技術戦術を身につける為、公認コーチライセンスの取得挑戦や、地域社会のコーディネーターとしての活躍、子供から高齢者まで地域社会の体験活動を経験し（ライフワーク）、チームや企業組織から求められる選手人材へ成長する。

### ■ 2017年の選手サポート体制～就業～

①スポーツビジネス科 職業訓練校へ入校の場合

平日10時～17時 約週4～5日

給与（給付金）=国の算定方法

（例）前年度所得と同等+交通費×6ヶ月

\*前年度学生の場合は約12万円程度+交通費×6ヶ月

介護初任者研修資格取得（前ホームヘルパー2級）無料

訓練施設終了後は、病院や介護施設での正社員・3年以上の就業が確約された有期雇用契約社員

②病院施設や介護施設の場合（看護助手、介護士）

平日8時30分～17時30分、土日祝 休日

無資格、総支給約15万円、1年契約その後、正社員転換可能

介護初任者研修資格取得の場合は総支給約16万円以上、正社員

介護福祉士資格取得者の場合は総支給約18万円以上、正社員

④非常勤職員 事務職

平日8時15分～17時15分、土日祝 休日

総支給約14万円、福利厚生あり、残業なし、1年契約

⑤民間企業 飲食店

平日9時～18時、練習時間に合わせた休日

1日8時間×22日就業+交通費、福利厚生、食事賄いあり

総支給約14万円

⑥民間企業 清掃業

平日8時15分～17時15分（早出勤あり）練習時間に合わせた休日

有期契約社員・早出残業手当、福利厚生、正社員転換あり

総支給約14万円

⑦民間企業 製造業

平日9時～18時、練習時間に合わせた休日

1日8時間×22日就業 福利厚生 正社員転換あり 総支給約14万円

⑧民間企業 事務職

平日8時30分～17時30分 練習時間に合わせた休日

有期契約社員・早出残業手当、福利厚生、正社員転換あり

総支給約14万円

⑨上記以外も団体職員や販売員、幼稚園など様々な就業先があります。

～住居～

球団契約マンション寮（1DK）月々家賃 最低21,600円

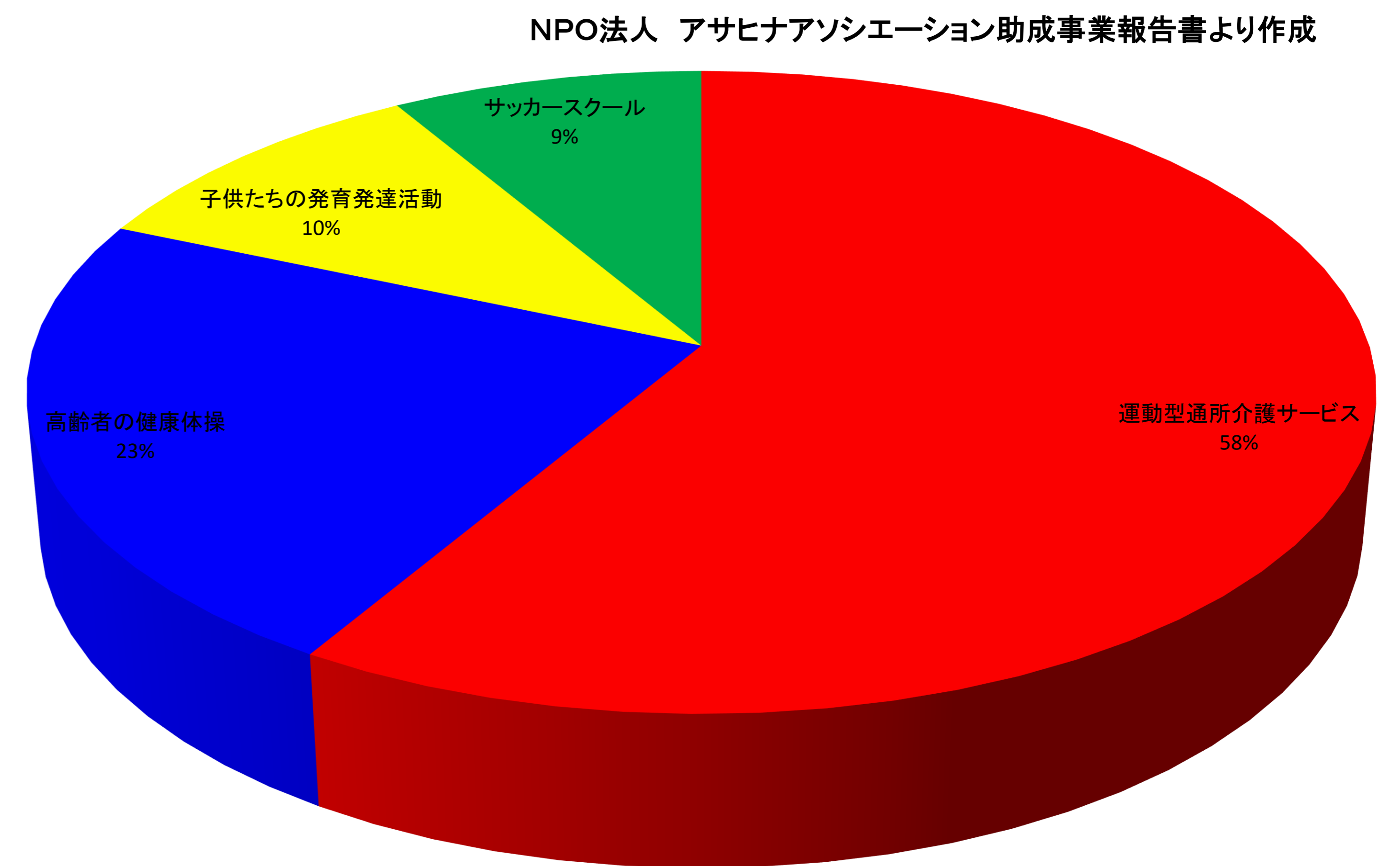
球団選手寮共同生活（5名まで）月々家賃 最低10,000円

（水道代込、光熱費別途必要）

～クラブ～

貸出原付きあり、TRウエア貸出無料、公式戦遠征費無料、

月会費・選手登録費（契約内容による）無料



・約3分の2が高齢者いきいき健康づくり活動が占める。その理由として、先駆者（高齢者）の方々に感謝の心を持ち、これからの高齢者社会に喜びと満足、感動を提供し、家族の幸せと社会に貢献したいと心から思っている。我々はホスピタリティーという言葉と行動を大切に実行していきたいからである。

残りは、後世代の子供たちに向けて発信している。特に選手が先生となり「夢を掴む難しさや、素晴らしさ」を伝えてもらう活動を、県内は離島まで足を運び行っている。また、上級コーチの資格も選手に積極的に取得させ、選手兼コーチがトレーニングをコーチングし、チーム全体での技術戦術の理解や、プレーの質の向上に繋がられるような、リーダーの育成にも力を入れている。

### ▶ ビジネスのマネジメント

（別紙資料参照）

専門の介護職資格取得やスキルアップもだが、「スポーツビジネス科」の特色として、企業での中間管理職・いわゆる即戦力として就業を目指している。創業者経営者としての心構えや会社設立、経営計画書作成から営業事務、接客までのノウハウ、また現在日本と韓国間ではビジネスチャンスが広がっていることから韓国語講座も盛り込まれている。実際この訓練校を修了しての専門就職率は90%以上、会社の起業創業家も多数輩出している。

### 【訓練校ビジネスアドバイザーのコメント】

15名という定員に対し、いつも40名ほどの募集がある人気の高いコース。今日の就職難という現実、行政も企業もスポーツ界に期待しています。特にこの訓練校で行われるカリキュラムは、スポーツインストラクターから経営者という、指導する立場の人材の育成が注目され、これまでの実績は、行政や企業に高い評価をいただいております。現役の各専門分野でご活躍されている講師が実技から座学まで指導し、受講生に刺激を与え、更に人材能力を伸ばし支えてくれています。